

余り糸で編める畝編みミニ巾着

* - *



■使用糸…ナイフメーラ

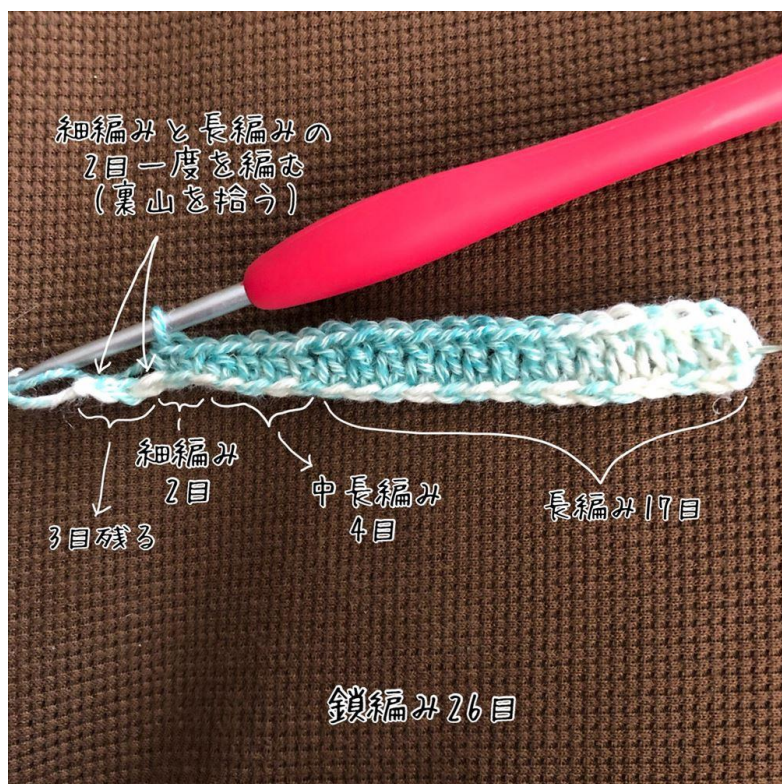
■使用針…かぎ針5号

■使用量…少々

* - *

■ 編み方

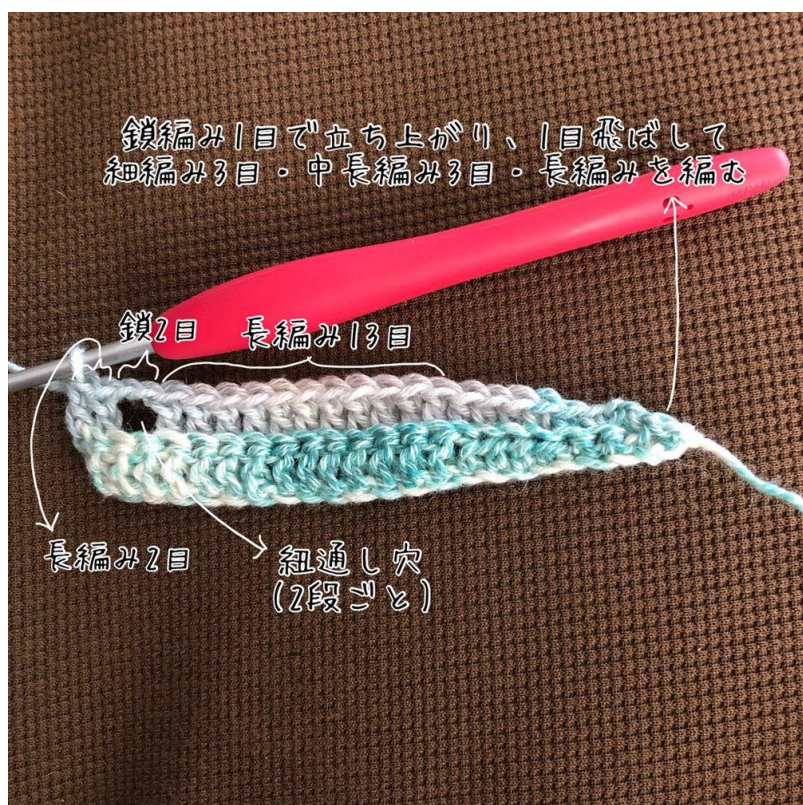
① 鎖編み 26 目で作り目し、立ち上がり目を含めて長編み 17 目・中長編み 4 目・細編み 2 目編みます。最後に残った鎖編み 3 目には、間の鎖編みを飛ばして細編みと長編みの 2 目一度を編みます（全て裏山を拾います）。





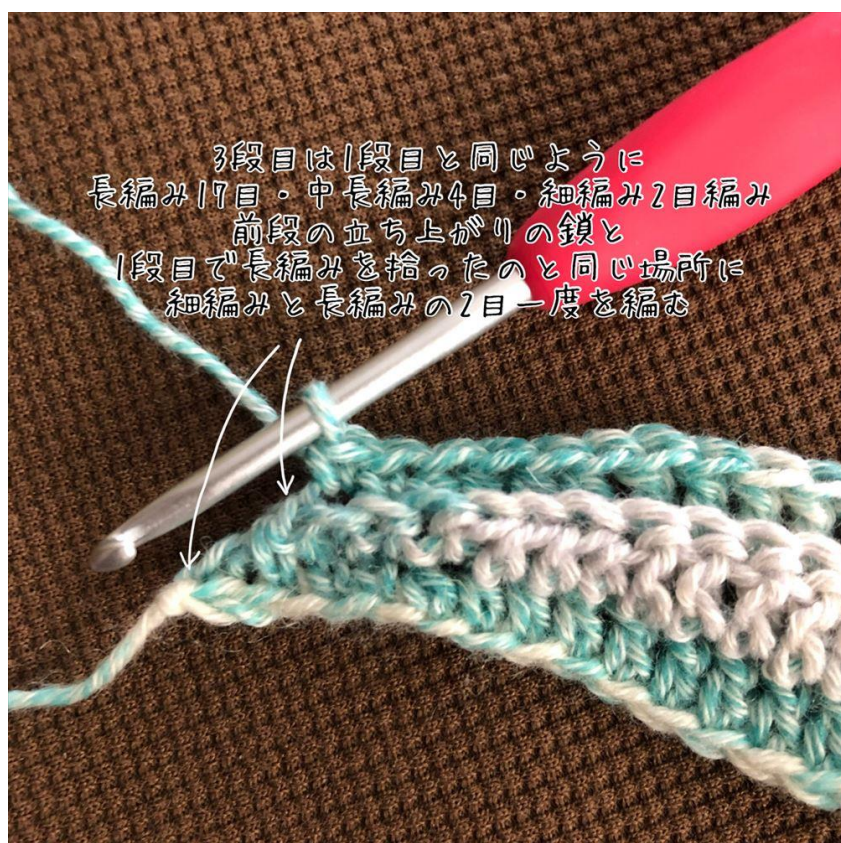
これで1段目が編めました。

② 鎖編み1目で立ち上がり、最初の目を飛ばして細編み3目を編み、続けて中長編み3目と長編みを端まで編みます。



これで2段目が編めました。

③ 3段目は1段目と同じ様に、立ち上がり目を含めて長編み17目・中長編み4目・細編み2目編みます。最後に細編みと長編みの2目一度を編みますが、前段の立ち上がりの鎖編み1目と、1段目で長編みを拾ったのと同じ場所（作り目の一番端の鎖編み）を拾って編みます。



これで3段目が編めました。

④ 4段目は②を、5段目は③を…という感じで、奇数段は③の工程、偶数段は②の工程を繰り返して編み、最後は偶数段で編み終わります。



これは半分ほど編めたところ。見本の巾着は全部で36段編みました。

⑤ 36段編めたら、糸端は切らずに、編み地を中表（表を内側）にして編み地の端を合わせます。

右の写真のように、最終段と作り目の鎖編みに引き抜き編みを編んで、とじていきます。

そのまま引き抜き編みを編むと、目立ってしまうので、作り目側は1段目を編む時に裏山を拾って編んでいるので、残っている鎖2本を、最終段側は向こう側の1本のみを拾います。





黒い矢印のようにかぎ針を入れて引き抜き編みを端まで編んでいきます。

最後の細編みと長編み2目一度のところは適当でOKです。底の部分なので、表から見た時にあまり目立たず穴が開かないようにかがってください。

端まで引き抜き編みをしたら、糸を切って糸始末をします。

紐は鎖編み100目編み、全ての目に引き抜き編みをしたものを2本用意し、互い違いに通しました。

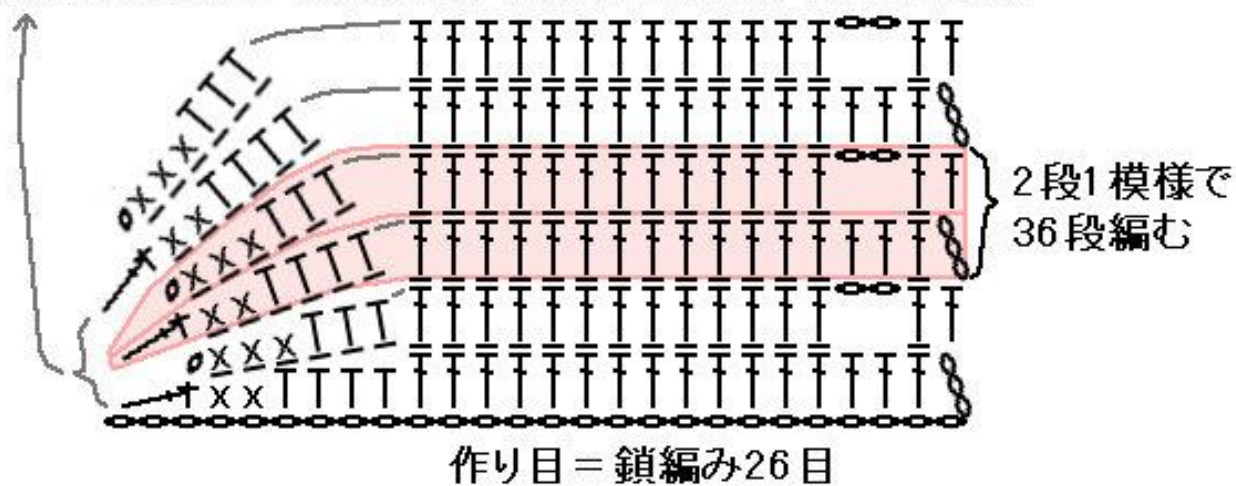
皮ひもなどを利用してもいいと思います。

編み図は数段のみの表示になります。2段を繰り返すだけですので、解説の写真を参考に、ピンクで色付けした2段を繰り返してください。

※ 編み図は次のページにあります。

■ 編み図

端の長編みは、作り目の端の目の裏山を拾って編み入れる



→ = 細編みと長編み2目一度(間の1目を飛ばす)